



東京金山会のページに
アクセス!



東京金山会通信 No.34

問い合わせ

東京金山会 広報担当 (藤山善夫)
☎080-5525-0435
✉fujiyama.d.siren@ae.auone-net.jp

新年明けまして、おめでとうございます。今年こそはコロナ禍も収束し、いつも通りに東京-金山間を往来できるような、そのような年となることを祈っています。

「東京金山コラム」Vol.13「日野と土方歳三」

新選組・副長の土方歳三は多摩地域・日野に生まれ、函館戦争まで、負け無しの指揮官。近藤勇の道場「天然理心流」と出会いその後は、ドラマなどで周知のとおり活躍。鳥羽伏見の戦いで幕府軍が敗れたあとも、江戸を脱出し、北関東から宇都宮・会津・仙台・函館まで新選組を率いて転戦し、本人指揮の戦いでは、負け無しの強さだったことは、以外と知られていないかもしれません。もちろん、東北にゆかりある英雄と言えます。

土方最後の戦いとなった、函館五稜郭の落城の前日、土方は遺品を日野へ送っています。敗勢の函館でも旧幕府軍は土方だけが長州・薩摩軍を撃破し勝利する展開。京都の「鬼」の副長が、函館では慈愛に満ちた指揮官であったと言われてます。肖像のようにカッコいいこと以上に、徳川天領・多摩と東北・会津、誠実豪強な気質、そして本人天性の柔らかい知恵が、後世に「負け無し」と伝わる活躍をさせたのかもしれない。

【東京での新年「お雑煮」】

東京金山会役員の「お雑煮」。当然ルーツはみんな金山ですが、昨今では関東風が主流でありつつ、少しずつ「進化」やバラエティーが見えるようです。



No.192

「森の子ども図書コーナー」

交流サロンぼすと内



『それからのおにがしま』
(川崎洋/作 国松エリカ/絵 岩崎書店)

桃太郎にやつつけられてから、鬼ヶ島の鬼たちははすっかりおとなしくなったようなやがて、島に渡し船が通うようになったような節分には子供は「福はーうち 鬼あーそば」と叫んだようなすっかり年取った桃太郎は、同じく年取った鬼の親分と川のほとりで昔話をするのが一番の楽しみだったような鬼と人間の交流を通して、鬼ヶ島はどんな変化を遂げたのでしょうか。かつては敵同士だった者たちがお互いに理解し合いながら穏やかな生活を築いていく様子に心がホッパリ温まります。



※()内作者名

なぜかうまくいく人の気遣い100の習慣 (藤本梨恵子)
職場のトリセツ (黒川伊保子)

人生を変える!理想の自分になる!超速!習慣化メソッド見るだけノート (吉井雅之)
ゲネス世界記録2022 (クレイグ・ブレンディ)

「図書室だより」

中央公民館内 9:00 ▶ 16:00

『北斗の邦へ飛べ』
(谷津矢車/角川春樹事務所)



松前家中の少年、春山伸輔は家名を復権させるべく、新政府の遊軍隊と合流。榎本軍への反乱活動を行っていた。一方、新選組の土方歳三は、かつて近藤勇らと夢見た国盗りを、箱館政府によって実現させようとしていた。相反する二人の運命の出会いを圧倒的スケールで描く歴史小説の登場!

『認知症世界の歩き方』
(箕谷介/ライツ社)



なかなか理解してもらえず困っていた「認知症のある方が実際に見ている世界」が絵と旅行記の形式で、すぐくわがる!認知症による生活の困り事の背景にあると考えられる心身機能障害を、ご本人の視点から44個にまとめた。まるで「ご本人の頭の中を覗いているような感覚」で、楽しみながら学べる1冊。

今月は4冊!

金山町の文化

集落支援員 栗田 伸一



「木曜どこでしよう」という事業が行われています。木曜日の放課後16時から17時の1時間、校庭でスキーに乗って遊びながら技術を学ぶ時間です。例年は、「金山スポーツ少年団クロスカントリー部」の皆さんが主体となって開催していた事業ですが、今季は金山健康ふれあいスポーツクラブが主催し、集落支援員の私がスタッフとしてお手伝いをさせていただきました。

どのくらいのニーズがあるのか懐疑的な気持ちもあったのですが、32人もの子どもたちが参加してくれています。金山小学校の児童のおよそ2割の人数です。彼らは、友達と一緒に雪の

こんにちは、集落支援員の栗田です。放課後、クロスカントリースキーで遊ぶ子どもたち。そんな風景をイメージして、雪国ならではの体験

うえを駆け回ること、滑ることは「楽しい」のだと知っているようです。子どもたちにとって「楽しさ」は引力であって、楽しいと思ったところに彼らは自然と吸い寄せられます。こういった雪国の楽しみ方が町の魅力の一つとなり、彼らには魅力を発信する役割を担ってもらいたいと感じました。楽しそうに情報発信する人には、「楽しさ」を求めている人が引き寄せられて来るはず。クロスカントリースキー魅力化計画、始まっています!



Facebookで活動を発信しています!ぜひチェックしてください!

スキーを楽しむ小学生たち



ふんげい

金山杉俳句会報 第四五九回

星川 キエ子
恵方道両手広げて深呼吸
駆け足で進む秒針日の短か

岸 昭子
水鳥の湖に漂ふ深眠り
旧き名の村里恋ひて雪螢

高橋 洋子
南天の赤き実覗く綿頭
煌々と空に張り付く冬の月

鶴沼 よし子
歳末の共同募金幸を呼ぶ
梵鐘へ幸を育み蜜柑剥く

阿部 一代
水仙を一輪挿して空磨く
焚火する煙の臭ひ懐かしき

栗田 弥超
臨月の身ぬち劣る膝毛布
舞遊ぶ鶯に誘はれ返り花

阿部 サタエ
どこまでも空青くして紅葉映ゆ
古里に初雪降るとメールあり

かねやま紅風会

荒屋 阿部 勝子
山々の冠雪纏ふ出羽の里
仏前に供へし花の冬牡丹
冬うら茶のみ仲間の久持良餅

菅越 庄司 けみ子
年の瀬や想ひ出めぐる夢の跡
活花を飾りし安堵の年を越す
京の旅千枚漬のみやげ買ふ

七日町 青柳 キエ子
静寂や凜ときり立冬の山
風立ちて天を転がす冬の雷
突然の師匠との別れ笹子鳴く

上台 阿部 一步
大いなる巨星旅立つ雪の華
紅風を心に残こし冬椿
松明けし千里の寅も歩み初め